



パワード・スピーカー

EON 600

S E R I E S

取扱説明書
Version 1.0



株式会社 サウンドハウス
〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3
TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222
<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

安全上の重要事項

1. 本マニュアルに記載されている全ての警告と指示に従ってください。
2. 本体を水の近くで使用しないでください。
3. 本体を水または液体の中にいれないでください。
4. 本体に直接エアゾールスプレー、クリーナー、消毒剤や殺虫剤を使用しないでください。メンテナンスは乾いた布で拭いてください。
5. 本体の通気口をふさがないように、マニュアルの指示に従って設置してください。
6. 熱源（ラジエーター、ストーブ、アンプ）などの近くに設置しないでください。
7. 安全のため、アース付きプラグを使用してください。プラグのブレードは一方が幅広になっています。アース付きプラグには、2つのブレードとアースピン（グラウンド）が付いています。幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。プラグが上手く挿さらない場合、技術者にコンセントの差し込み口を確認して貰う事をお勧めします。
8. 電源コードは踏まれたり、挟まれる事の無いようにしてください。
9. 電源コードを抜く際は、コードを引っ張らず、プラグ部分を持って引き抜くようにしてください。
10. 製品受領時に外部に損傷（電源コード等を含む）が無いか確認してください。もし製品にダメージがあった場合、ただちに販売店へ連絡してください。修理を行わずに使用を続けると更なる深刻なダメージを被る恐れがあります。その状況で使用を続けた場合は、保証期間内でも保証外の対応となる場合が有ります。
11. アクセサリーやパーツは、メーカーが定めた物をご使用ください。
12. 長期間使用しない場合や、雷が発生した時はプラグを抜いてください。
13. 電源周りのトラブルや液体をこぼしてしまった時、高い湿度にさらされた時は、販売店に相談してください。そのまま使用を続けたり、無理に自分で修理を試みないでください。
14. 電源コードのプラグは抜き差し可能で、差し込むだけで使用できます。
15. 地域の法律に沿ってご使用ください。
16. 設置について疑問が生じた場合は、販売店に相談してください。

メンテナンスと修理

本製品は最新の電子技術と素材を使用しているため、それに応じたメンテナンスと修理を行う必要があります。機材へのダメージ、使用者へのケガを防ぐためにメンテナンス/修理はJBLの代理店にて行ってください。

注意！：この製品はFCC規則第15部に準拠しており、Class B digital deviceに認定されています。

本製品を使用すると高周波を発信する場合があります、設置場所および使用方法によっては、無線送信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ラジオやテレビの受信に干渉する場合は、環境に応じて使用するかどうかの判断、または下記の改善策をご検討ください。

- 受信アンテナの方向や位置を変える
- 装置と受信機の距離を離す
- 受信機が接続されているものとは別の回路のコンセントに機器を接続する
- 販売店、またはテレビ・ラジオの技術者に相談する

目次

安全上の重要事項	2
メンテナンスと修理	3
はじめに	5
仕様	5
各部の名称	8
設置	11
セットアップ	12
アプリケーション	13
EON CONNECT	16
故障かな？と思ったら	16
ブロック・ダイアグラム	18

はじめに

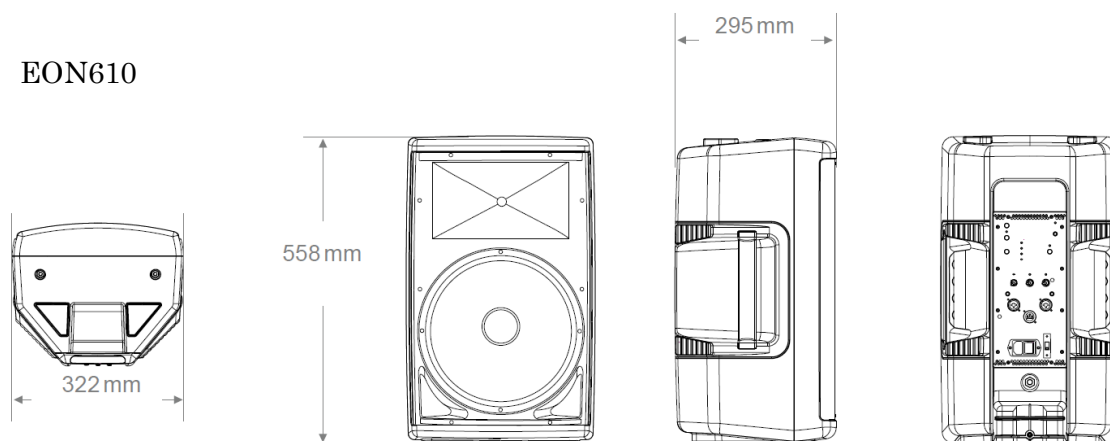
この度はJBL EON600 シリーズ・パワード・スピーカーをご購入いただき、誠にありがとうございます。EON600 シリーズは、先端テクノロジーを使用して開発された、様々な用途において最高のサウンドを出力することができるパワード・スピーカーです。本製品の性能を最大限に発揮させ、末永くお使いいただくため、ご使用になる前に、この取扱説明書を必ずお読みください。

仕様

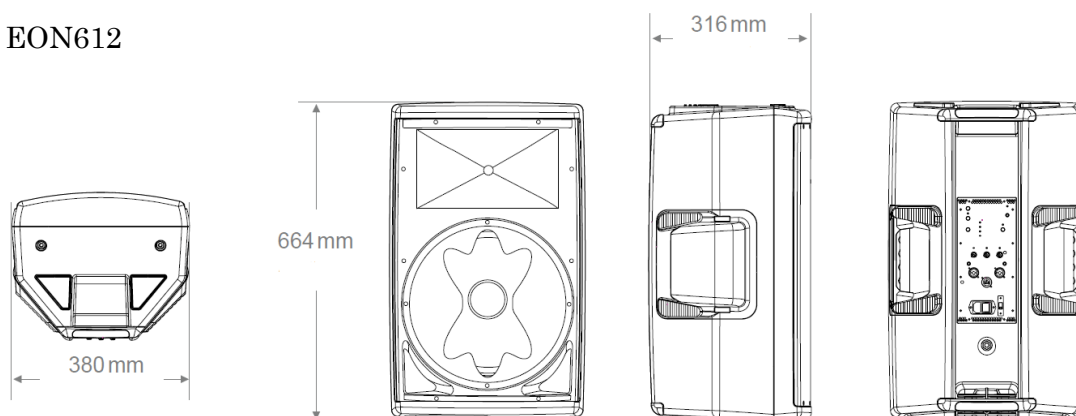
モデル	EON610	EON612	EON615
構成	2way フルレンジ		
最大音圧レベル	124dB	126Hz	127Hz
周波数特性(-10dB)	52Hz - 20kHz	48Hz - 20kHz	39Hz - 20kHz
周波数特性(±3dB)	60Hz - 20kHz	57Hz - 20kHz	50Hz - 20kHz
EQ	パラメトリック EQ(3 種類)、 ハイ/ローシェルビング(スマートフォン、タブレット・アプリのみ)		
アンプ	クラス D		
パワー	ピーク出力:1000W(700LF+300HF)、 連続出力 500W(350LF+150HF)		
入力インピーダンス	20KΩ(バランス)		
コネクター	XLR/フォン・コンボ入力x2 スルー出力(XLR)x1		
LED インジケーター	電源 LED(前後)、Bluetooth、EQ プリセット、EQ+、 入力信号 CH1/CH2、リミッターLED		
冷却	自然冷却(ファン無し)		
電源	AC100V、50 - 60Hz		
消費電力(1/8Power)	55W		
LFドライバー	10 インチ(254mm) ウーハーx1	12 インチ(305mm) ウーハーx1	15 インチ(381mm) ウーハーx1
HFドライバー	1 インチ(25.4mm)ポリマー・ダイアフラム、 ネオジウム・コンプレッションドライバー		
指向角度(水平x垂直)	110 度x60 度	100 度x60 度	90 度x60 度
クロスオーバー周波数	1.8kHz		
エンクロージャー材質	ポリプロピレン		

吊り/ ポールマウント	M10 サスペンション・ポイントx3 36mm ポールソケット(スタビライザー付き)x1		
ハンドル	上下左右 4 カ所		
寸法 (W×H×D)	322×558×295mm	380×664×316mm	439×707×365mm
質量	11.8kg	15.0kg	17.7kg

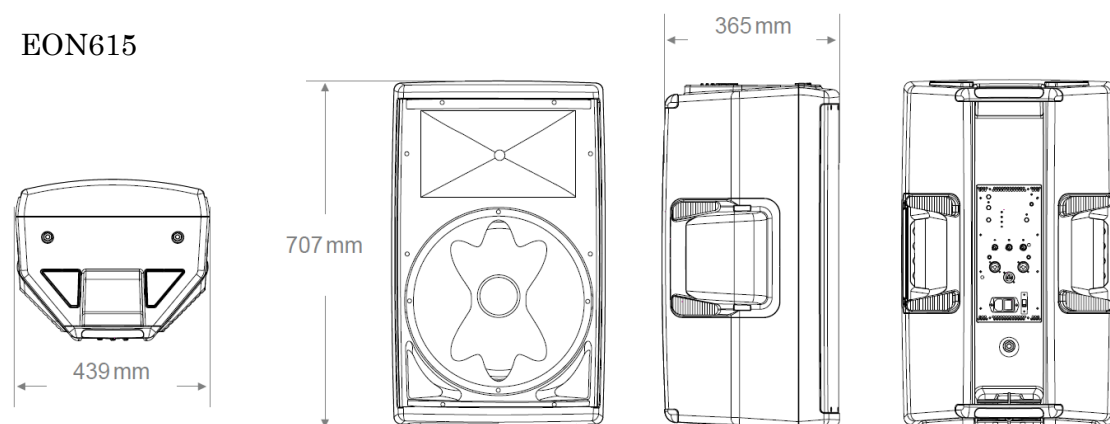
EON610



EON612

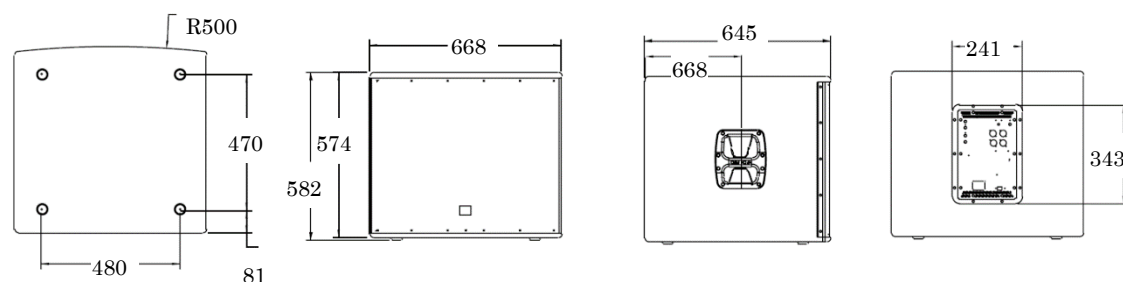


EON615



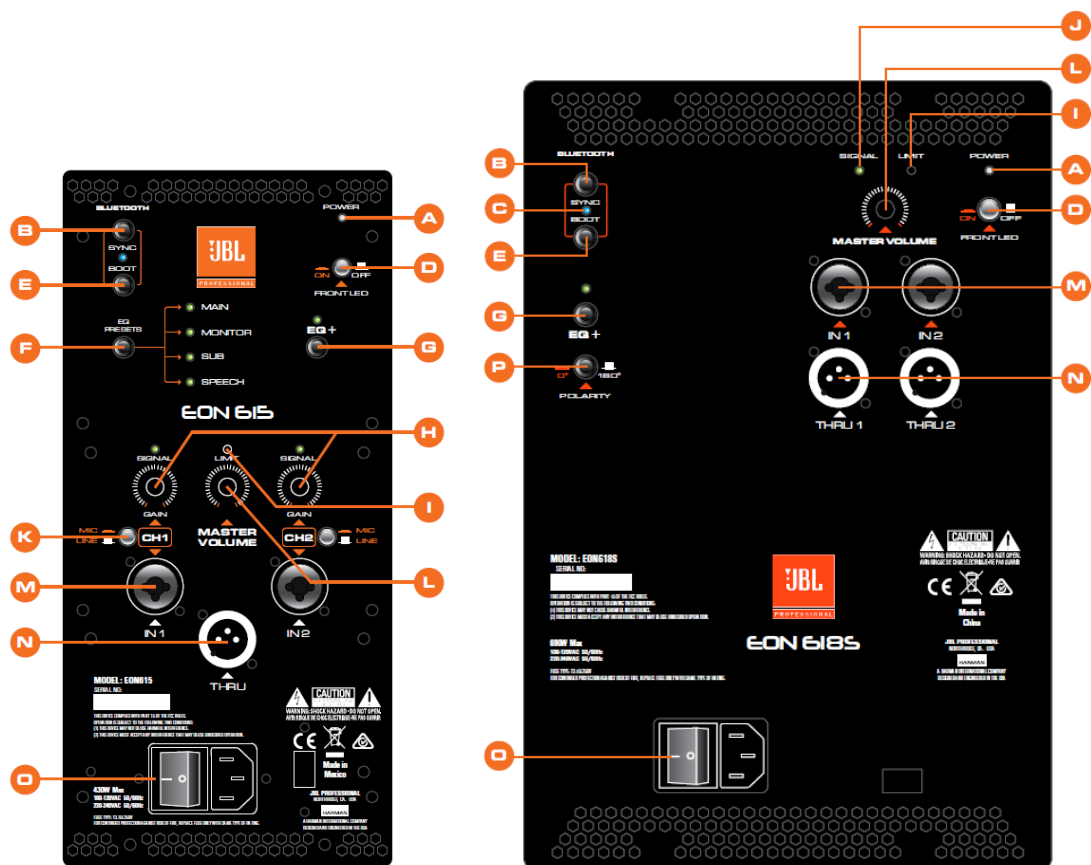
EON618 サブウーハー

モデル	EON618S
構成	サブウーハー
最大音圧レベル	134dB
周波数特性(-10dB)	31Hz - 150kHz
周波数特性(±3dB)	42Hz - 150kHz
EQ	パラメトリック EQ(3 種類)、 ハイ/ローシェルビング(スマートフォン、タブレット・アプリのみ)
アンプ	クラス D
パワー	ピーク出力:1000W、連続出力 500W
入力インピーダンス	22K Ω (バランス)
コネクター	コンボ(XLR/フォン)入力×2 スルー出力(XLR)×1
LED インジケーター	電源 LED(前後)、Bluetooth、EQ+、入力信号、リミッターLED
冷却	自然冷却(ファン無し)
電源	AC100V、50 - 60Hz
LF ドライバー	18 インチ(457mm)ウーハー(2 インチボイスコイル)×1
クロスオーバー周波数	80Hz、100Hz、120Hz 選択可能
エンクロージャー材質	Duraflex 仕上げ合板
ポールソケット	M20 ポールソケット×1
ハンドル	左右 2 カ所
寸法(H×W×D)	582×668×645mm
質量	35.5kg



単位 : mm

各部の名称



A. POWER LED

電源スイッチが ON のとき白色に点灯します。POWER LED は前面下部にも装備されています。

B. Bluetooth Sync

EON Connect をインストールしたスマートフォンやタブレットにスピーカーを接続するときに押します。

C. Bluetooth LED

EON Connect をインストールしたスマートフォンやタブレットとペアリングが成立したときに点灯します。

D. FRONT LED

前面パネル下の LED を ON/OFF します。

E. Bluetooth Boot

EON Connect をインストールしたスピーカーがスマートフォンやタブレットに自動的に接続しないようにします。

F. EQ PRESETS (ENO610、612、615 のみ)

4 種類の EQ プリセットを選択できます。

MAIN (初期設定)

メインスピーカーとして使用するときを選択します。

MONITOR

モニタースピーカーとして使用するときを選択します。

SUB

サブウーハーと一緒に使用するとき選択します。

SPEECH

スピーチ、またはアナウンスに使用するときを設定します。

G. EQ+

EON CONNECT アプリから設定した EQ 設定を ON/OFF します。

H. CH1、CH2 ゲイン

CH1 と CH2 のゲインをコントロールします。反時計回りに回すとゲインが下がり、時計回りに回すと上がります。

I. LIMIT LED (赤)

信号がクリップレベルに近づいたとき点灯します。頻繁に点滅する場合、システムは過負荷の状態になって歪みを起こしたり、故障の原因になることがあります。

J. SIGNAL LED (緑)

入力信号があることを示します。

K. MIC/LINE (フルレンジ)

CH1/CH2 の入力感度をマイクレベル、またはラインレベルに切り替えます。

※このスイッチは、ゲインのツマミを反時計回り一杯に回してから切り替えてください。

L. MASTER VOLUME

マスターボリュームをコントロールします。反時計回りに回すとボリュームが下がり、時計回りに回すと上がります。

M. 入力端子

コンボ入力バランス XLR/フォン端子です。

N. THRU

スルー出力バランス XLR 端子です。両方の入力端子に信号がある場合はモノラルに

ミックスされます。EON610、612、615 は MIC/LINE 切り替えとゲインの影響を受けます。

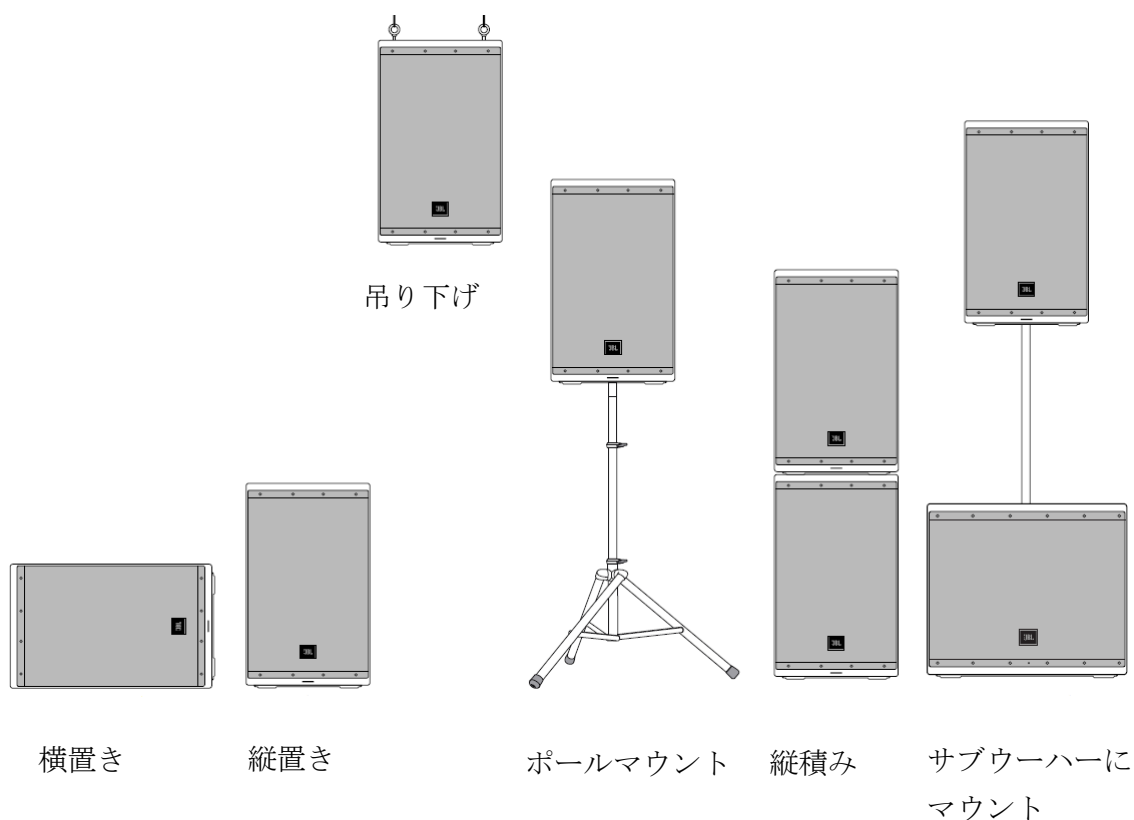
O. POWER

電源の ON/OFF スイッチです。

P. POLARITY (NOE618S のみ)

サブウーハーの位相 (0 度/180 度) を反転させます。

設置



M10 サスペンション・ポイントを使用して吊り下げる

- 吊り下げ作業はリギングに関する十分な経験を積んだ専門業者が行うようにしてください。
- 吊り下げには JBL PROFESSIONAL 「229-00009-01 (M10 x 35mm アイボルト x 3 とワッシャー x 3 のセット) を使用してください。

設置場所に関して

- できるだけ観客の頭上より高い位置 (60~120cm) に高域ドライバーがくるように設置してください。設置位置が低すぎると後方の観客に良い音が届かない可能性があります。
- マイクより後ろ側にスピーカーを設置すると、ハウリングが起こることがあります。スペースに制約があり、マイクより後ろにスピーカーを設置しなければならない場合、マイクをスピーカーに向けないようにしてください。

- DJ ブースで使用する場合、ターンテーブルのトーンアームがスピーカーの出力を拾い、増幅され、ハウリングが起こる場合があります。重くて頑丈なターンテーブルの土台やショックマウントを使用してハウリングを防ぐことができます。
- 広くて反響が大きい会場では複数のスピーカーシステムを使用し、タイムディレイを使用すると効果的です。
- ステージモニターとして使用する場合、後ろに傾けて設置してください。

セットアップ

マイク、音楽プレイヤー、電子楽器、ミキサーなどを入力

1. GAIN と MASTER VOLUME を左一杯に回します。
2. XLR、またはフォンケーブルを CH1/CH2 入力端子に接続します。
3. MIC/LINE ボタンを押して CH1/CH2 の入力感度をマイクレベル、またはラインレベルに切り替えます。

電源の接続とパワーON

1. 電源スイッチが OFF になっていることを確認します。
2. 付属の電源コードを本体リアパネルに差し込み、もう一方をコンセントに差し込みます。
3. 音楽プレイヤー、電子機器、ミキサーなどの電源を ON にします。
4. 本機の電源スイッチを ON して、POWER LED が点灯することを確認します。

※電源スイッチを入れてから使用可能な状態になるまで約 10 秒ほど掛かります。

出力レベルの調整

1. EQ プリセットボタンを使用して適切なプリセットを選択します。
2. GAIN レベルを調整します。12 時の位置から開始することを推奨します。
3. MASTER VOLUME をゆっくり回して音量を調整します。

電源 OFF

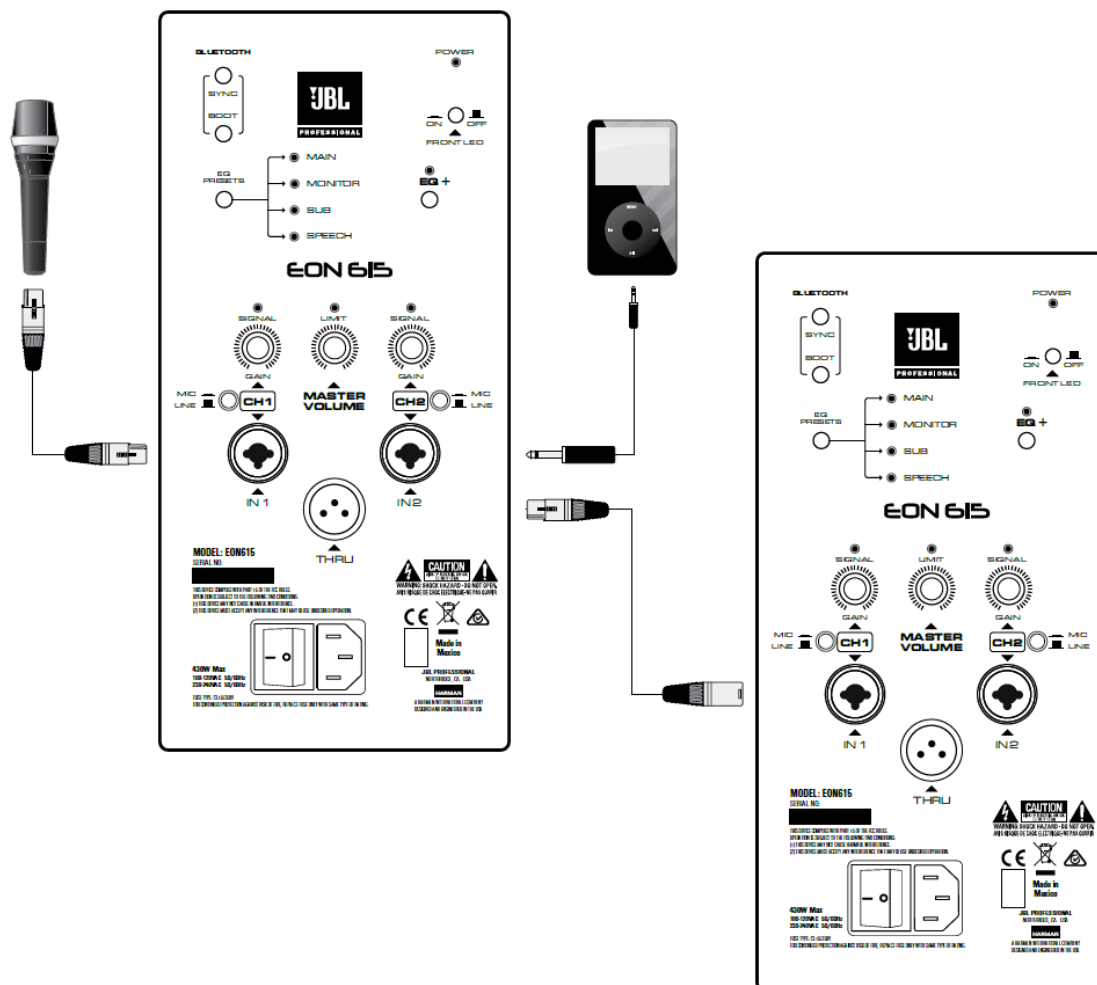
1. GAIN、MASTER VOLUME を最小にします。
2. 音楽プレイヤー、電子機器、ミキサーなどの出力レベルを最小にします。
3. 本機電源スイッチを OFF にします。
4. 音楽プレイヤー、電子機器、ミキサーなどの電源を OFF にします。

アプリケーション

音楽プレーヤーとマイクを使用した例

CH1 : MIC、CH2 : LINE

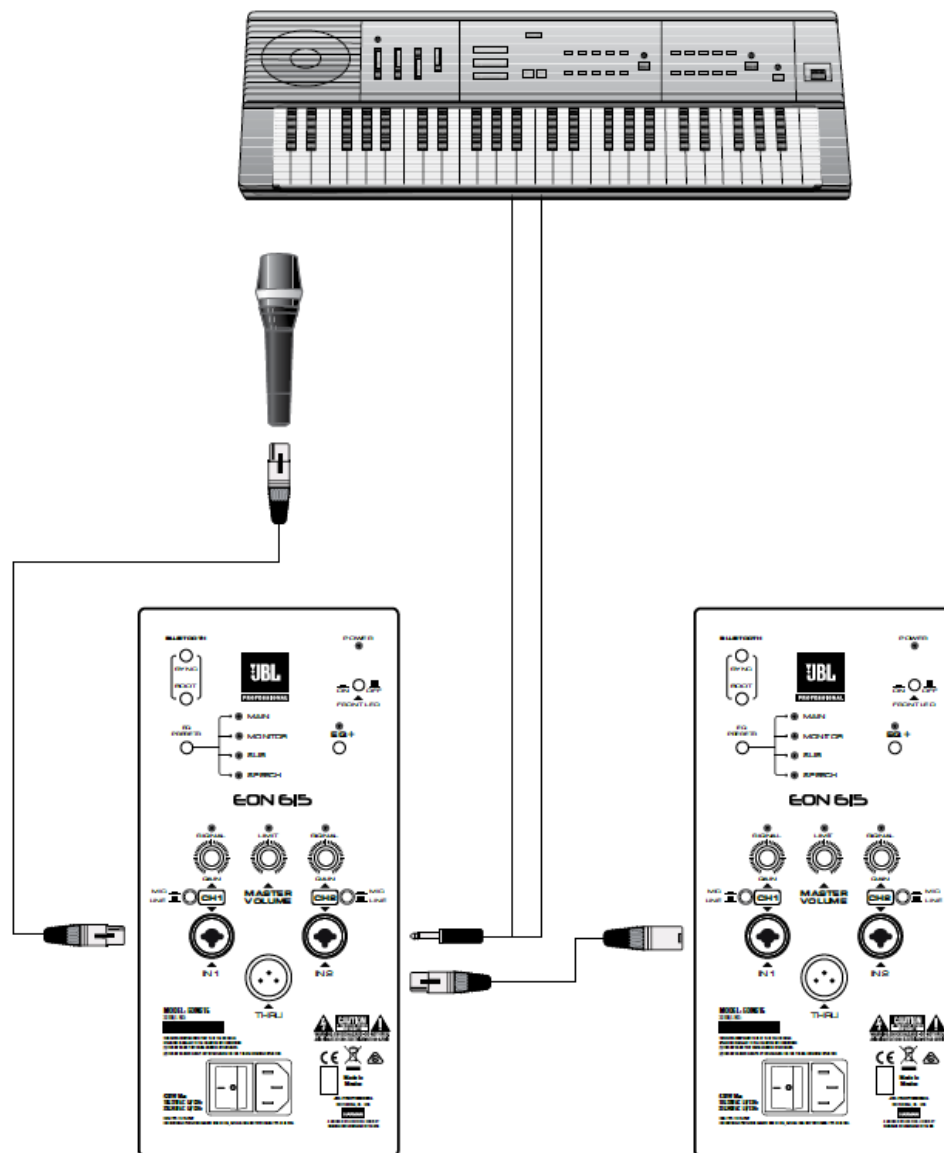
EQ プリセット : MAIN



キーボードモニター

CH1 : MIC、CH2 : LINE

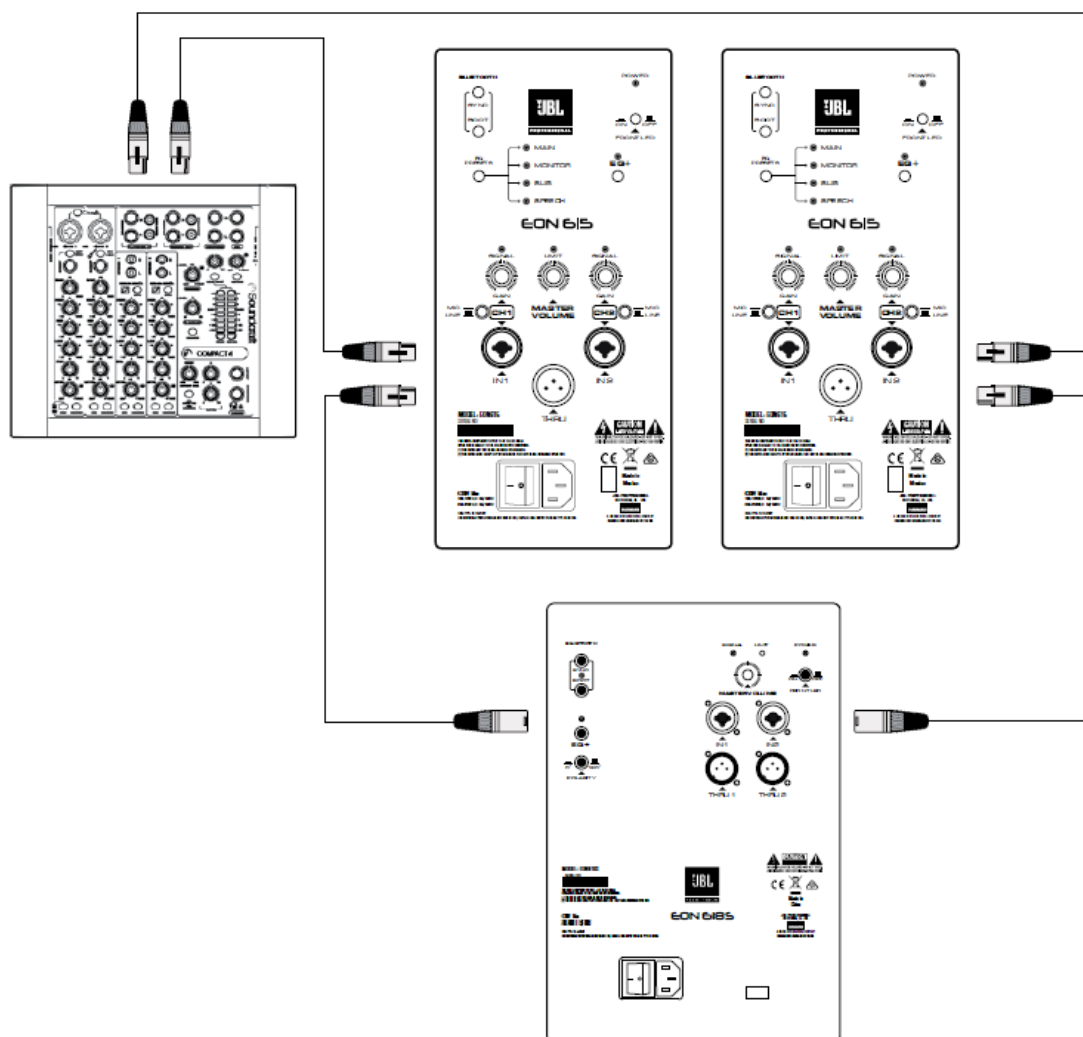
EQ プリセット : MONITOR



外部ミキサーを使用したシステム例

CH1 : LINE、CH2 : LINE

EQ プリセット : SUB (フルレンジ) /EON (サブウーハー)



EON CONNECT

EON CONNECT は本機をワイヤレスでコントロールするために用意された iOS/Android OS 端末用アプリケーションです。詳細は別紙マニュアルを参照してください。

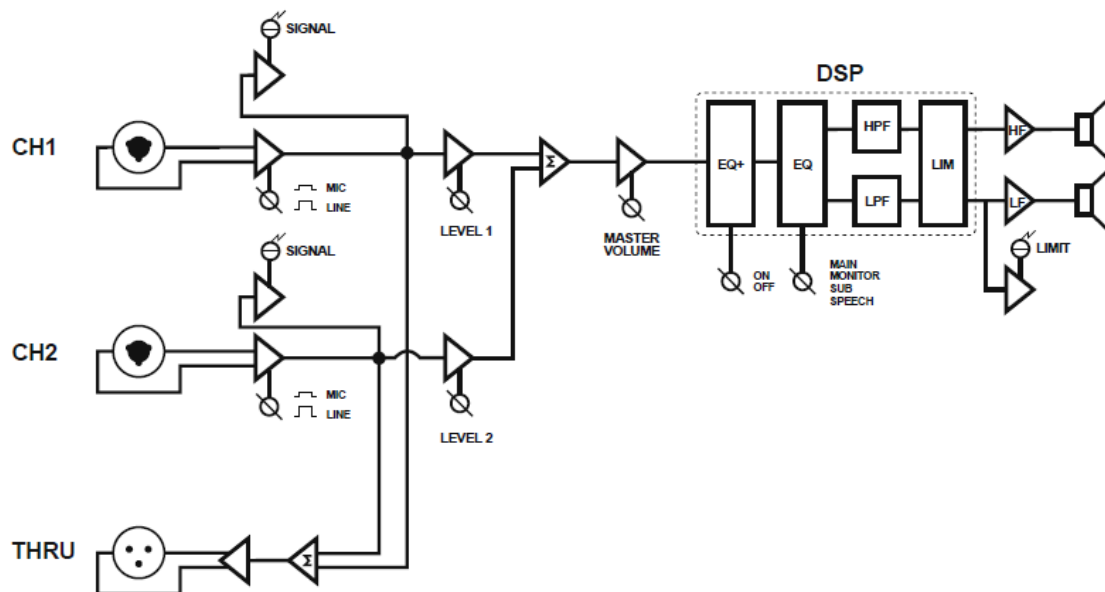
故障かな？と思ったら

症状	原因	対策
電源が ON にならない	電源コードがコンセントに差し込まれていない	電源コードをコンセントに差し込んでください
	電源スイッチが ON になっていない	電源スイッチを ON にして POWER LED が点灯することを確認してください
	電源コードに不具合がある	正常な電源コードに交換してください
	コンセントの電圧が AC100V 以下になっている	コンセントの電圧が AC100V になっていることを確認してください
電源が ON になっているのに音が出ない、または非常に小さい	入力信号レベルが小さすぎる	音源のマスターボリュームやゲインを上げてください
	スピーカーのマスターボリュームやゲインが小さすぎる	スピーカーのマスターボリュームやゲインを上げてください
	機器の接続に問題がある	機器を正しく接続してください
	接続ケーブルに不具合がある	正常なケーブルに交換してください
MIC/LINE にマイクを繋いでも音が出ない	ファンタム電源が必要なマイクを接続している	本製品はファンタム電源の供給機能はありません。次のマイクを使用してください ・ダイナミックマイク ・電池駆動のコンデンサーマイク ・外部ファンタム電源を使用したコンデンサーマイク
	MIC/LINE 設定が LINE になっている	MIC/LINE 設定を MIC 側に切り替えてください

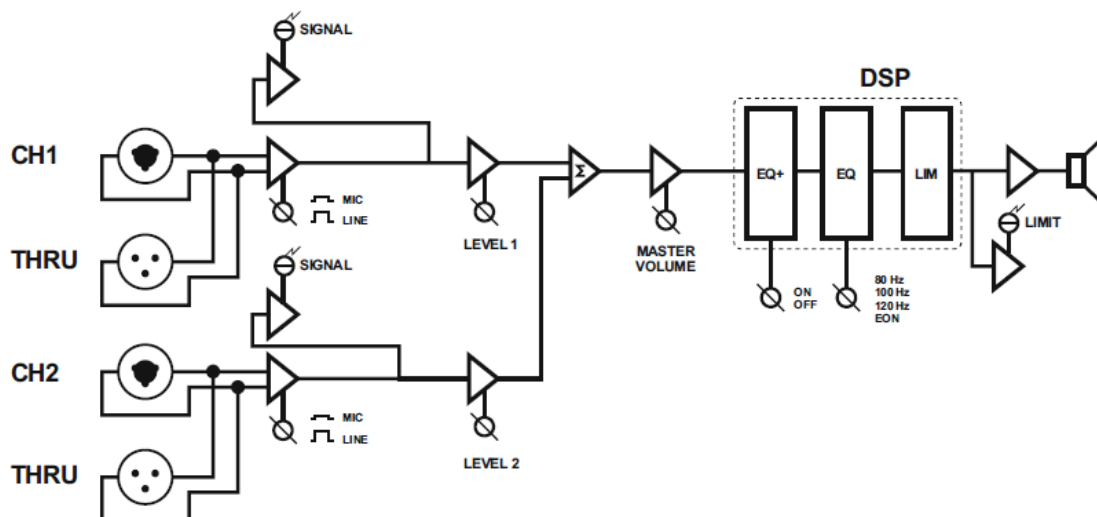
音が歪む。PEAK LED が常時点灯する	入力信号レベルが大きすぎる	音源の出力信号レベルを下げてください
	スピーカーのマスターボリュームやゲインが大きすぎる	スピーカーのマスターボリュームやゲインを下げてください
ノイズが発生する。ボリュームは十分小さく、LIMIT LED も消灯している	ミキサー側が過負荷になっている	ミキサー側の入力ゲインやフェーダーを調整してください
	MIC/LINE 設定が MIC になっている	MIC/LINE 設定を LINE 側に切り替えてください
	接続ケーブルに不具合がある	正常なケーブルに交換してください
	アースが正しく接続されていない	アース接続を確認する 信号ケーブルを電源コードや照明ケーブルから離してください
	長いアンバランス・ケーブルを使用している	音源に装備されている場合、バランス出力を使用してください。無い場合は DI ボックスを使用してアンバランス接続をバランス接続に変えてください
EQ プリセットボタンが動作しない EON610、612、615 のみ	EQ プリセットボタンの動作不良	EQ プリセットボタン上の LED が点灯または消灯する前に EQ+ ボタンを離すと、EQ プリセットボタンが動作しなくなります。その場合は、ボタン上の LED が点灯または消灯するまで再度 EQ+ ボタンを押し続けると復旧します。

ブロック・ダイアグラム

EON610、612、615



EON618S





※この取扱説明書に記載されている商品名、会社名などは、その会社の商標登録です。
また、掲載されている図、写真などの著作権はその会社にあります。